

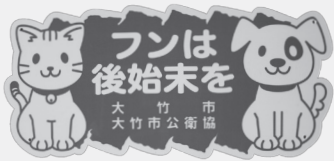


不妊・去勢手術をしましょう
生まれてくる命に責任が
持てるかをよく考え、飼いま
の知らない間に子猫が生ま
れることがないよう対策を
しましょう。なお、不妊・去
勢手術は、病気の予防やスト
レスの軽減、マーキング行為
の減少にもなります。

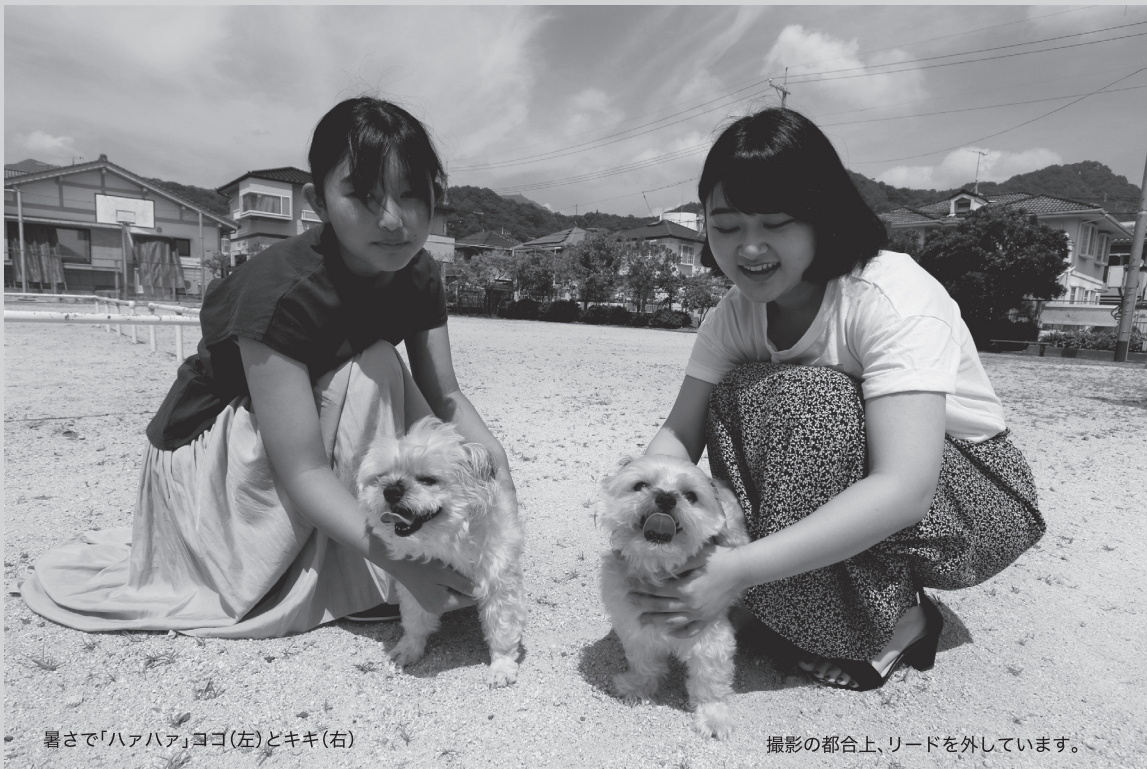
**のら犬・のら猫への無責任
なエサやりはやめましょう**
エサを与えるなら愛情と
同じだけの責任が必要です。
飼う意志がないのであれば、
エサをあげてはいけません。
不妊・去勢手術や排泄物の
清掃などを行わずエサだけ
を与える行為は、周囲から迷
惑がられる不幸なのら犬・
のら猫を増やすだけです。

啓発用看板を配付—

問い合わせ
公衆衛生推進協議会
☎ 2112



犬のふんの持ち帰りや、の
ら猫へのエサやり禁止を啓発
するため、公園や道路などの
公共施設に設置する看板を無
料で配付しています。
看板が必要な方は、各地区
の公衆衛生推進委員または環
境保健協力員を通じて、公衆
衛生推進協議会に申し込ん
でください。



暑さで「ハアハア」ヨコ(左)とキキ(右)

撮影の都合上、リードを外しています。

飼い犬の登録と 狂犬病予防注射が 義務付けられています—



狂犬病予防法により、生後
90日を経過した犬の飼い主
には、犬の登録(生涯1回)と
狂犬病予防注射(毎年1回)
が義務付けられています。

犬は必ず登録を

環境整備課または市指定
の獣医師のいる動物病院で
行ってください(登録手数料
3000円)。また、犬の死
亡、飼い主の変更や所在地の
変更など、登録事項に変更が
あった場合は環境整備課に
届け出てください。

必ず狂犬病予防注射を

市指定の獣医師のいる動
物病院で予防注射を受け、注
射済票交付の申請手続きを
行ってください(交付手数料
550円)。

市指定の獣医師のいる動

市指定の獣医師のいる動物病院		
病院名	所在地	電話番号
大竹動物病院	大竹市油見3丁目16番9号	53-5441
みどり動物病院	大竹市北栄4番16号	52-1186
のぞか動物病院	廿日市市宮島口西2丁目3番29号	0829-56-0073
メリー動物病院	廿日市市大野土井995番地の4	0829-55-1515
エナミ動物病院	廿日市市内978番地の5	0829-39-3338
むつみ動物病院	廿日市市内1067番地の2	0829-38-6230
松村動物病院	廿日市市内4317番地の5	0829-30-7770
廿日市動物病院	廿日市市串戸3丁目2番30号	0829-31-1200
たむら動物病院	広島市佐伯区吉見園7番16号	082-924-5812
大野中央もみじ動物病院	廿日市市大野中央4丁目9番38号	0829-50-0012
安芸ペットクリニック	広島市佐伯区八幡1丁目21番29号	082-927-2255

犬・猫の引き取りは 県動物愛護センターへ—

問い合わせ 県動物愛護センター ☎0848-86-6511

県動物愛護センターでは、犬・猫の保護や引き取り業務を行っ
ています。ただし、終生飼養の原則に反するなどで引き取れ
ない場合もありますので、同センターへ相談してください。



動物愛護週間

9月20日(金)▶26日(木)

地域に暮らす 人と動物との関係づくり

問い合わせ 環境整備課 ☎ 2154

ペットはマナーを守って飼いましょう—

ペットは気持ちに安らぎをもたらし、生活に潤
いを与えてくれます。しかし、一部の飼い主の
マナーが十分でないため、周囲にさまざまな迷
惑がかり、多くの苦情や相談が寄せられてい
ます。動物が好きな人もいれば、そうでない人
もいます。人と動物が共に生きていける社会の
実現には、飼い主のモラルとマナーが必要で
す。



マロンの里土曜日にやって来
た銀平くん(オス11カ月)は
シーズーとトイプードルの
ミックス犬。

犬のトラブルを防ぐために

ほえ声は他人の迷惑になら
ないよう注意しましょう

犬のほえ声は周囲への迷
惑になります。訪問者などが
見えない場所へ犬舎を移動
させたり、無駄ばえをさせ
たりしないようしつけましょ
う。

ふん尿の始末は必ず行いましょう

犬を散歩させるときはス
コップとビニール袋などを
持ち、必ず飼い主がふんを持
ち帰りましょう。

犬舎の周りは常に清潔に
保ち、周囲に悪臭を発生させ
ないようにしましょう。

ペットを飼う前に考える 10のポイント

- ①あなたの住居はペットが飼える環境で、転居があってもそれは変わりませんか？
- ②ペットの種類や生態が、あなたのライフスタイルに合っていますか？
- ③家族みんなが動物を飼うことに賛成していますか？
- ④家族に動物アレルギーの人はいませんか？
- ⑤毎日欠かさずペットの世話に時間と手間をかけられますか？
- ⑥あなたの体力で世話ができるペットですか？
- ⑦近隣に迷惑をかけないように配慮できますか？
- ⑧ペットの一生にかかる費用を考えてみましたか？
- ⑨あなたとペットの両方の生涯にわたる計画を立ててみましたか？
- ⑩災害時や、万一、あなたが飼えなくなったときに、ペットの命を守る方法を考えていますか？

「飼わない」「今は飼えない」と判断することも動物への愛情です。

屋外では必ずリードをつけましょ
う
犬の放し飼いは、人に恐怖
感を与えたり、交通事故につ
ながったりするおそれもあ
ります。昼夜を問わず必ずつ
ないで飼いましょう。また、
散歩させるときや公園など
でも適切な長さの引き綱や
リードで必ずつないでくだ
さい。

猫のトラブルを防ぐために

室内で飼いましょう

猫は上下に動ける空間に
トイレや爪とぎのできる場
所を作ることで、室内でもス
トレスをためることなく飼
うことができます。ケガや感
染症などの危険から守るだ
さい。

首輪や迷子札をつけましょう

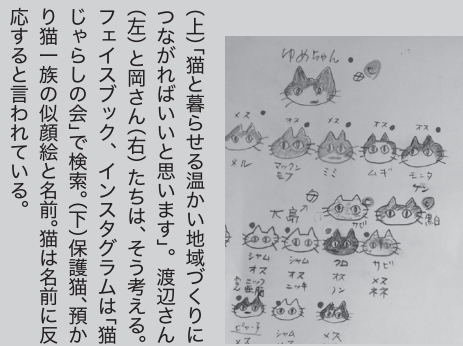
たとえ室内飼いであって
も、開いた窓などから逃げて
しまうことも考えられます。

飼い猫と分かるように、所有
(身元)表示をしましょう。首
輪が外れたときのために、マ
イクロチップを使った方法
もあるので、かかりつけの動
物病院にご相談ください。

猫は決まった場所であ
る習性があるため、自宅
に専用のトイレを備えてく
ださい。トイレの数は猫の数
プラス1が理想です。



これまで100匹近い猫を里子に送り出した。しかし、里子に出すときは、細心の注意を払うよう努めている。安易に引き取ったものの結局面倒を見ることができず、再び野良猫とならないよう、里親とのコミュニケーション



(上)「猫と暮らせる温かい地域づくり」つながればいいと思います。渡辺さん(左)と岡さん(右)たちは、そう考える。フェイスブック、インスタグラムは猫じゃらしの会で検索。(下)保護猫、預かり猫一族の似顔絵と名前。猫は名前に反応すると言われている。

里親探しで情報発信

渡辺さんたちは、野良猫の里親探しにも余念がない。若いメンバーが力を発揮し、SNSやポスター、フリーペーパーなどを使って情報を発信していく。ちなみに会のロゴマークなどもメンバーがデザインしたものだ。

情報発信の影響力の大きさでは、新聞やテレビで取り上げられたときの反応は、とりわけ大きかったと振り返る。広島市や庄原市など、遠方からも引き取る人が現れたそう。

これまでに100匹近い猫を里子に送り出した。しかし、里子に出すときは、細心の注意を払うよう努めている。安易に引き取ったものの結局面倒を見ることができず、再び野良猫とならないよう、里親とのコミュニケーション

地域が我が家に

8月13日、渡辺さんからメールが届いた。この日2匹が引き取られ、100匹目、101匹目の里子となったそう。

メールには「野良猫にとって地域が我が家であって欲しい」。そんな一文も添えられてあった。

シヨンを図ることが大切だと話す。

作業場には、これまで保護したり預かったりした猫の一族の顔が描かれた紙が貼られている。その一匹一匹に名前が付いている。名付け親の岡さんは「名前は大事。名前を呼ぶことで、お互いの気持ちがつながっていると感じる」と笑みを浮かべる。



ノ猫ニヤンて言わニヤいで、 地域猫って呼んでほしいニヤ

―広がる地域猫活動―【取材 企画財政課】

猫ルームの子猫「いい子だね」

保護猫たちの猫ルーム

作業場の階段を上すると小部屋があった。そこは「猫ルーム」と呼ぶ一室。中に入ると数匹の子猫たちが、押し入れの奥に丸まっていたり、エアコンの上でまったりとしていたり、思い思いにくつろぐ姿があった。「猫じゃらしの会」という栄町を中心に活動するグループが、野良猫を保護するために設けたスペースだ。この会が発足したのは、昨年の11月。地域に住む猫たちと共存していきたいという思いを持つ有志が集まり結成された。

地域猫活動スタート

「昔からさかえ公園には捨て猫が多くて猫の生息地のようでした。そこから自宅の敷地内に通ってくる猫にエサをやっていたんです」。地域の迷惑にならないよう、や



猫じゃらしの会のロゴ。不妊・去勢手術をした目印に猫の耳を少しカットすることから「さくらねこ」と呼ばれる。

むを得ずそうしていたと話すのは会の代表を務める渡辺節子さん(東栄1)。通い猫が慣れてきたころ不妊・去勢手術をしていたという。しかし、費用もかかり個人の負担には限界があると感じていた。

同じ思いを持つ副代表の岡政子さん(西栄3)と、市の環境整備課に相談に行き、県が地域猫活動を推進していることを知った。渡辺さんたちは、自治会の協力を得て県から承認を受け、活動を始めた。

野良猫は嫌われ者、やっかい者として見られることが多い。臭いや鳴き声に悩まされるという声も耳にする。エサをやるから増えるのだという意見もある。

「猫も生きるためには必死です。エサをやらなければ、結局ごみをあさったり、家に入ったようになります」



(上) 動物愛護センターが、団体認定申請に基づき現地確認に訪れた。適切な管理のための指導を行う。
(下) 縁台の下で涼んでいた猫。こちらの気配を感じて逃げられた。岩合光昭さんのようにはいかない。

野良猫の数を増やさないためにも、県では認定した地域猫の不妊・去勢手術費用を負担する制度がある。年間200匹と限りはあるが、獣医師会に委託して行っている。

地域猫活動

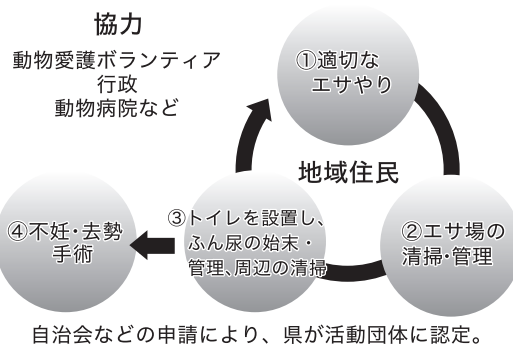
地域住民が主体となり、野良猫へのエサのやり方、ふん尿の始末などのルールをつくり、適切な管理により住民と猫とが共存していく取り組み。保護した猫の不妊・去勢手術費用は県が負担し、手術後は元の居場所に返す。猫の繁殖を抑制するとともに、発情期の鳴き声や臭いも減少する効果もある。



エアコンの上で、のんびり昼寝をしていた猫たち。カメラが近づくと起きてしまった。

「猫じゃらしの会」は、今年度の市民活動助成団体にも認定された。東栄、西栄からこうして始まった地域猫活動の輪は、南栄、新町などへと広がりをを見せている。

主体



認定団体へは保護するためのオリの貸し出しも行う。「大竹は活動が熱心な地域です」。植田さんはそう話してくれた。

谷口ジロー
(昭和22年〜平成29年)
鳥取市出身の漫画家。
代表作『坊ちゃんの時代』『孤独のグルメ』『神々の山嶺』など。



『犬を飼う そして…猫を飼う』 作 谷口ジロー

作者自身の体験にもとづいた漫画作品。夫婦が飼っている愛犬が年老いて死に至るまでを克明に描いた珠玉の名作。愛犬の死後、引き取るようになった猫との生活をつづった作品など7編の作品集。作者は、動物を題材にした作品を数多く手がけた。